

レファレンス協同データベース の概要・利用方法と利活用事例

国立国会図書館 関西館 図書館協力課 協力ネットワーク係

令和元年8月 レファレンス協同データベース研修

■ はじめに

レファレンス協同データベースとは…






- 図書館での調べ物相談を記録したデータベース
- 全国の図書館が事例を登録して、「協同」で運営
- 略称は「レファ協」



<https://crd.ndl.go.jp/reference/>



研修の流れ

-  1 レファ協事業の概要
-  2 レファ協データベースを使う意義
-  3 システムを使いこなす
-  4 図書館の活動を届ける
-  5 参加する/した後



レファ協の概要

- ▶ 事業概要
- ▶ データの紹介

レファレンス協同データベース事業とは？

全国の図書館の
レファレンス
情報を…

データベースに
集めて…

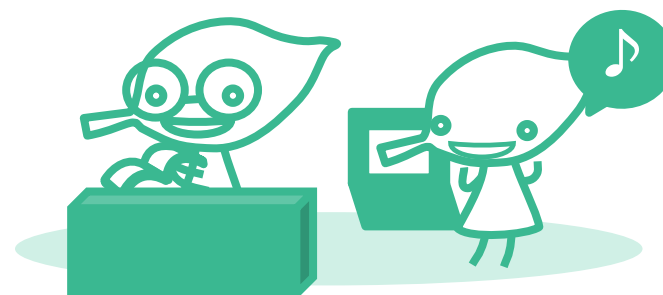
みんなで
使う！

全国の参加館

国立国会図書館
公共図書館
大学図書館
専門図書館
学校図書館



図書館の職員や一般利用者



■ レファ協における「レファレンス」とは？

“この事業では、利用者が何らかの情報または資料を求めて図書館員に寄せた質問を、すべてレファレンス質問と位置付けています。”

(データ作成・公開に関するガイドラインより)

例えば、こんなレファレンスが…

事実調査の例

- ▶ くまのプーさんの誕生日を教えてください
(福井県立図書館)

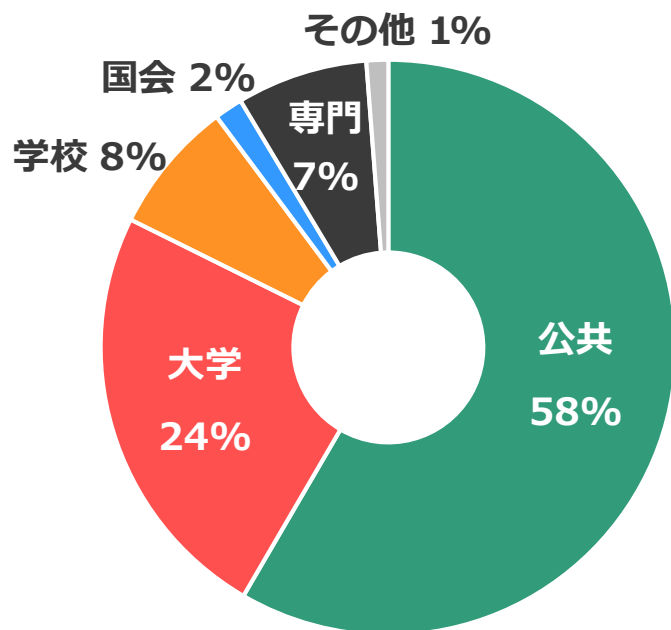
利用案内の例

- ▶ トヨタ博物館ライブラリー(図書室)では、トヨタ博物館
紀要は配布されていますか。
(トヨタ自動車株式会社トヨタ博物館ライブラリー)

読書案内の例

- ▶ 日本の妖怪や神様が出てくる怖くない小説が読みたい。
(神奈川県学校図書館員研究会)

館種別の事業参加館数 (2019年7月1日時点)



| | |
|-----------|------|
| ● 公共図書館 | 476館 |
| ● 大学図書館等 | 195館 |
| ● 学校図書館等 | 61館※ |
| ● 国立国会図書館 | 13館 |
| ● 専門図書館 | 60館 |
| ● アーカイブズ | 10館 |

様々な規模・種類の図書館が参加 合計 815館
＝様々な分野の質問への手がかりが！

※学校図書館は、各都道府県の学校図書館研究会等の単位で参加する場合も1館と数えている。

4種類のデータ

レファレンス事例



事業の参加館で行われた
レファレンスサービスの
記録（約216,000件）

調べ方マニュアル



特定のテーマやトピックに
関する情報源の探し方を説
明した情報（約11,000件）

特別コレクション



個人文庫など参加館が所
蔵する特別コレクション
に関する情報（約580件）

参加館プロフィール

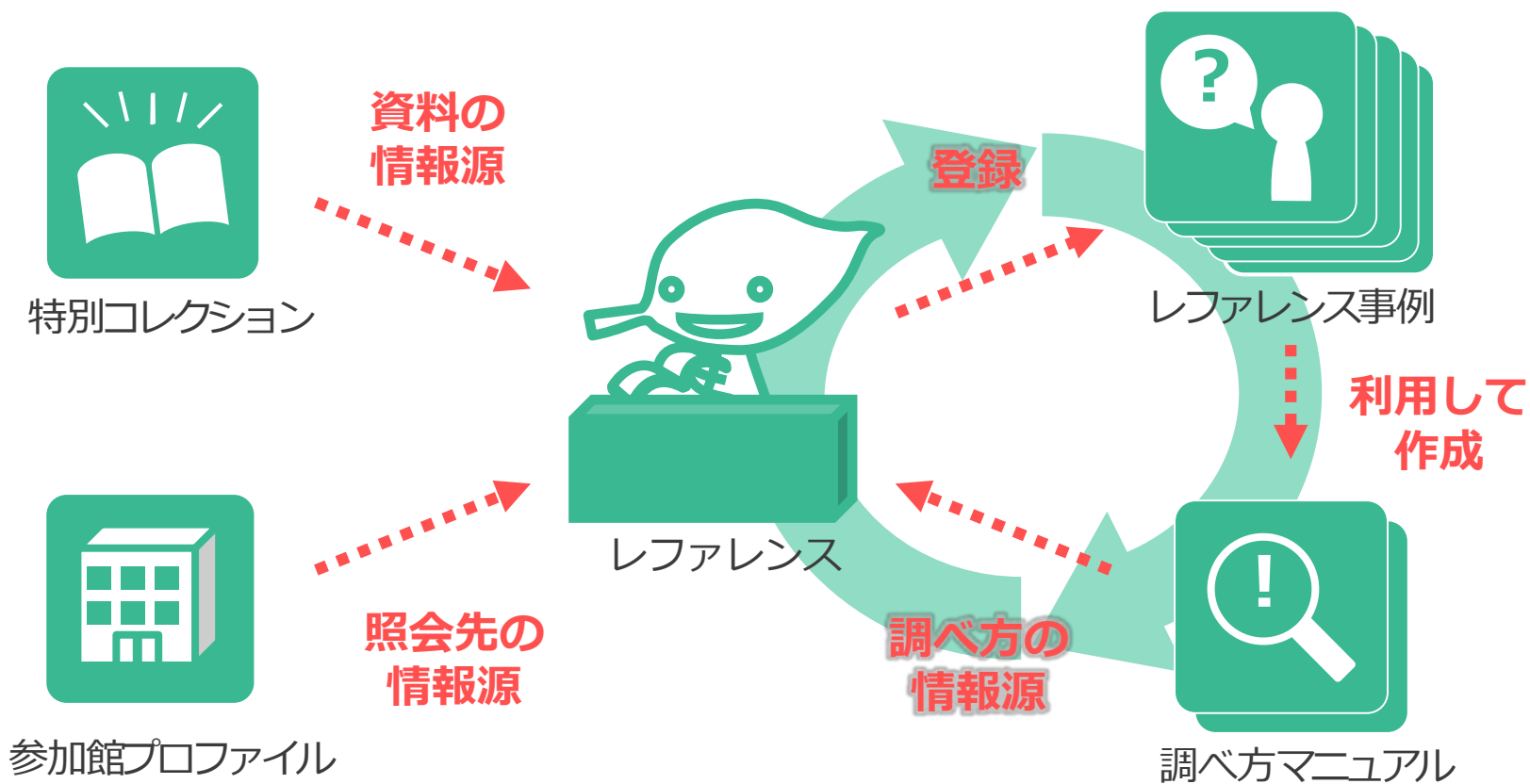


参加館の連絡先やサービス
内容などについての情報
（約800件）

※数値は2019年7月時点のもの

レファ協のデータの関係

- ▶ 4つのデータが有機的に連携し、循環する。



登録データのご紹介（1）

地域関連

- ▶ 甲山が伊丹空港に着陸するときの目標になっていると聞いたが事実かどうか（西宮市立中央図書館）

ビジネス・経済

- ▶ 「脱プラスチック」の最新動向や、企業の取り組みについて知りたい。（大阪府立中之島図書館）

ブックリスト

- ▶ 能・狂言鑑賞のためのブックリスト
（神奈川県学校図書館員研究会）

登録データのご紹介（2）

調べ案内の例

- ▶ 書名などがはっきりしない絵本をさがすための資料にはどんなものがあるか？（香川県立図書館）
- ▶ 楽譜・音楽情報の調べかた（大阪市立中央図書館）

特別コレクションの例

- ▶ 震災文庫（阪神・淡路大震災関係資料文庫）
（神戸大学附属図書館）
- ▶ 明智光秀コレクション（福知山市立図書館）

データを見てみよう！

レファレンス事例詳細(Detail of reference example)

[転記用URL] http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000193564

[次のデータへ](#)

| | | | | | |
|--------------------------|--|-----------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|
| 提供館 (Library) | 埼玉県立久喜図書館 (2110009) | 管理番号 (Control number) | 埼玉-2016-033 | | |
| 事例作成日 (Creation date) | 2015年12月13日 | 登録日時 (Registration date) | 2016年06月18日 12時24分 | 更新日時 (Last update) | 2016年09月06日 16時03分 |
| 質問 (Question) | 子どもの絵本やおもちゃには熊がモチーフとなったものが多いが、なぜ狩猛な熊が好まれるのか知りたい。 | | | | |
| 回答 (Answer) | <p>質問に関する記述のある以下の資料を紹介した。</p> <p>『テディベア大図鑑』(ポーリン・コックリル著 上沢伸子訳 日本ヴォーグ社 1994) p8 「熊(または、ヒグマ)は19世紀の終わりごろ、子供部屋では物語の登場人物としても玩具としても、ごく当たり前の存在だった。というのも、曲芸する熊が旅回りの調教師と共にあちこちを巡業していたため、ヨーロッパや北アメリカではなじみ深い動物だったからである」とあり、テディベアの原型やルーズベルト大統領のエピソード、テディベア・ブームの始まりなどの記述あり。</p> <p>p216 「子どものおもちゃには、世の中を反映しているものが多い。そう考えると、19世紀におもちゃ産業が発達したときに、ベアのおもちゃが広まったのも当然のことと言えよう」とあり。</p> <p>『熊 ものと人間の文化史 144』(赤羽正春著 法政大学出版局 2008) p6 「猛獣のぬいぐるみを「かわいい」とする神経には、人の心の奥底で熊はたんなる猛獣ではなく、人の心の片隅で生き続けている自分自身であることを示しているのではないかとあり。</p> <p>p19-20 図5「熊構造図」に「ぬいぐるみ・童話・文学」あり。「(前略)人にとっては熊の体すべてが薬であった。このように人から見た熊は大自然の中にあってそれを克服した聖なる獣であり、山の神の標</p> | | | | |

データを見てみよう！（つづき）

1 動物学のクマ、テディベアに関する図書を調べる。

2 《国会図書館レファレンス協同データベース》（<http://crd.ndl.go.jp/reference/> 国会図書館）を〈クマ or テディベア〉で検索する。

「テディベアの名前の由来を知りたい」（http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000001152 山梨県立図書館）の参考資料を確認する。

『イメージ・シンボル事典』（アト・ド・フリース著 大修館書店 1984）

p49-50 「BEAR クマ」の項に「象徴として 1 高貴を表し、王はオットセイ、クマ、メルシナ（妖精）の血統である。ロシアでは人間の友であり、この国のエンブレムとなっている。」とあるが、子供に関する記述なし。

『英米文化常識百科事典』（南雲堂 1996）

p37 「BEAR クマ」の項に、イギリスエリザベス朝時代の「熊いじめ」の他、獐狂な面があり、乱暴な男のたとえとされる一方、くまのプーさんやテディーベアが連想され親しみ深いイメージもありとのこと。

3 《Google》を〈ぬいぐるみ & 歴史〉で検索する。

《くまがキャラクター化される理由-聖学院大学》（http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/download.php?file_id=2817 聖学院大学）

くまのぬいぐるみと子どもの関係についてまとめられている。記述の元は回答資料の永井恵理子著「人格化される熊(1)：キャラクターとしての「くま」の魅力の謎」とあり。

4 《CiNii Articles》（<http://ci.nii.ac.jp/> 国立情報学研究所 2015/12/13最終確認）を〈クマ & 愛〉〈永井恵理子 & 熊〉で検索する。

質問に関する記述のない資料

『絵本をみる眼』（松居直著 日本エディタースクール出版部 1978）

『絵本とは何か』（松居直著 日本エディタースクール出版部 1973）

『絵本の与え方』（西郷竹彦編 明治図書出版 1978）

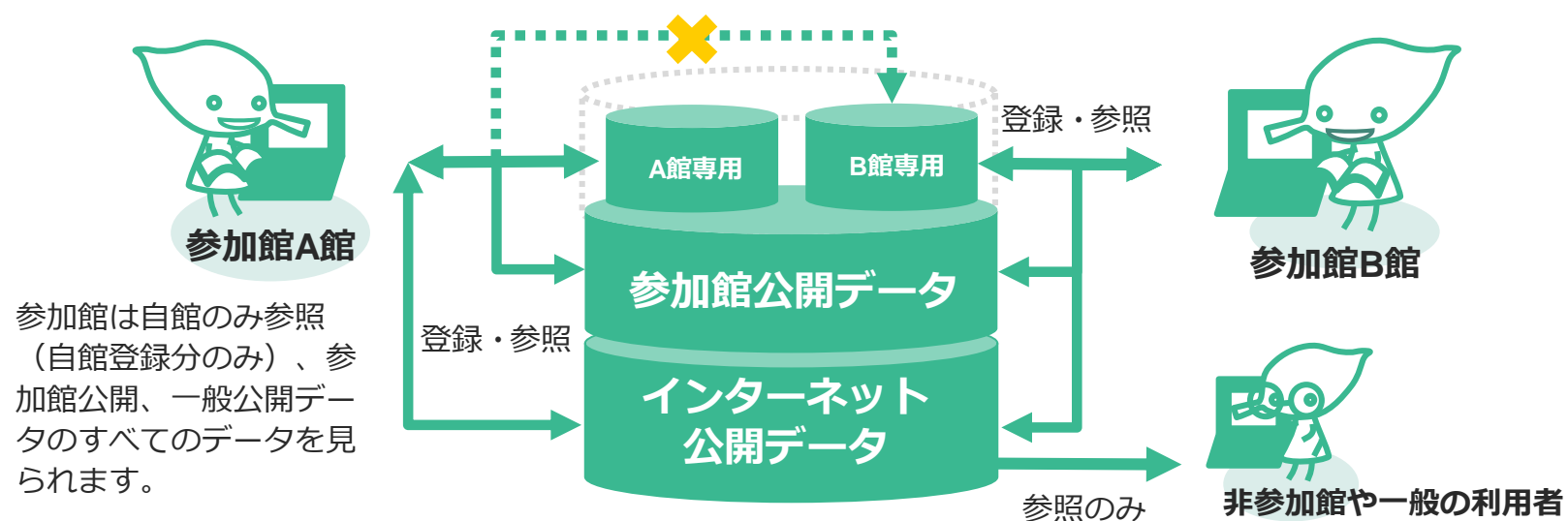
『現代絵本研究』（日本児童文学者協会編 日本児童教育開発研究所 1977）

回答プロセス
(Answering process)

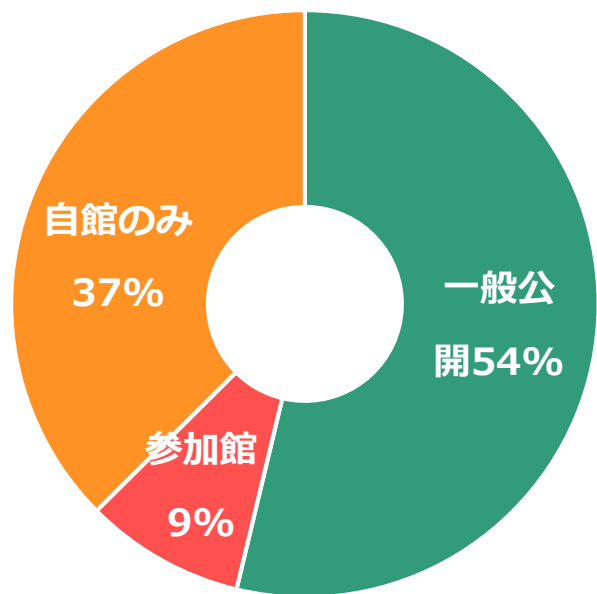
登録データの公開範囲

- ▶ 一般公開：インターネットでだれでも参照可能
- ▶ 参加館公開：参加館の職員のみが参照可能
- ▶ 自館のみ参照：登録館の職員のみが参照可能

= 自館専用のクラウドデータベースとして利用可能!!



登録データの内訳 (2019年7月1日現在)



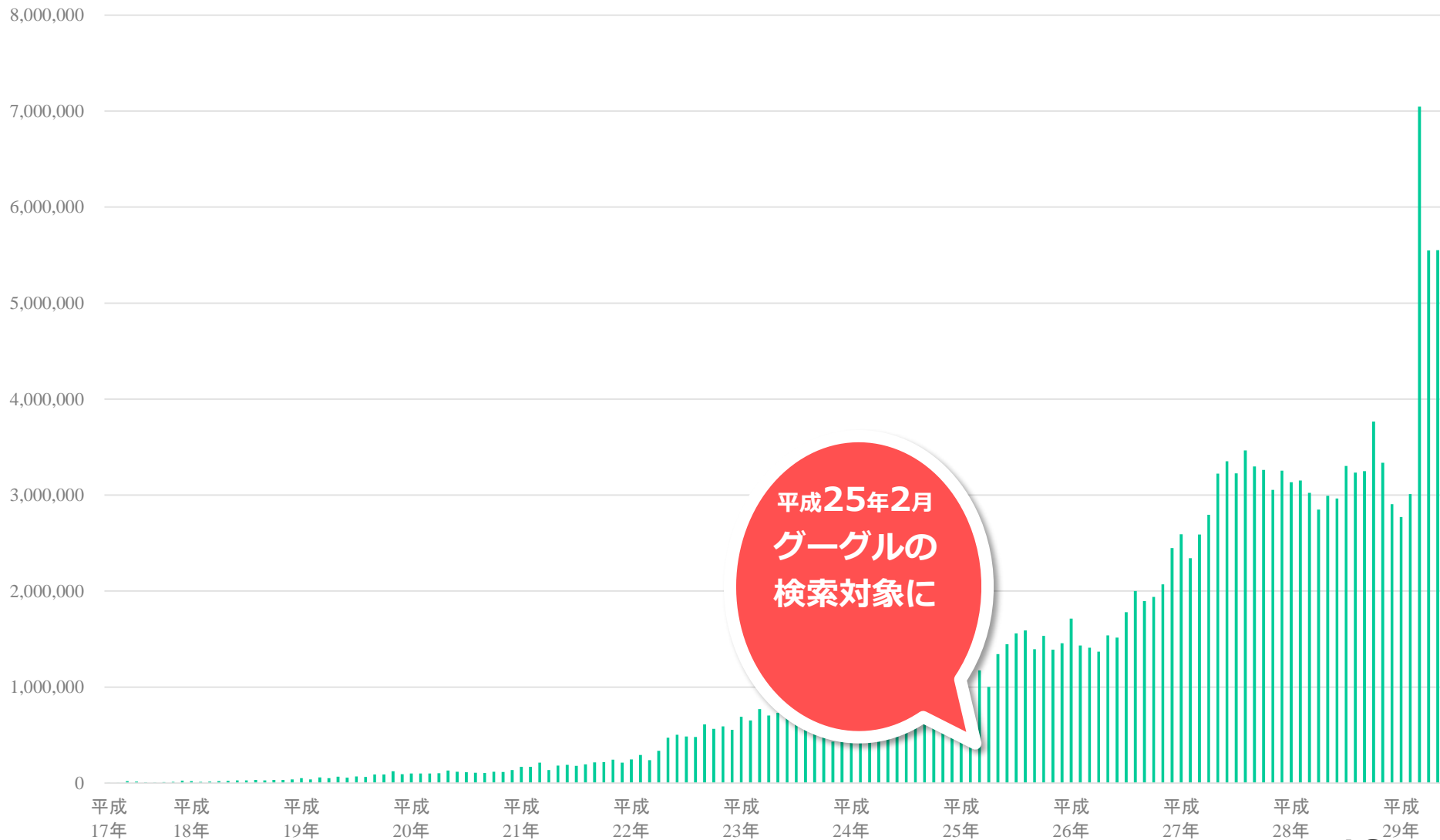
| | |
|----------|------------------|
| ● 一般公開 | 123,000 件 |
| ● 参加館公開 | 20,000 件 |
| ● 自館のみ公開 | 85,000 件 |
| 合計 | 228,000 件 |

登録データの多さ！

＝類似の事例を探ことができ、調査時間の短縮に



アクセス数の推移



平成25年2月
グーグルの
検索対象に



2

レファ協データベース を使う意義

- ▶ なぜ、記録をする？

記録することの意味

(1) スキルや役立つ情報の共有化（横の共有）

- ▶ 1人でどこまでやりきれますか？
- ▶ すぐそばに、いつでも尋ねられる人はいますか？

(2) レファレンス処理の迅速化（縦の共有）

- ▶ 1回の記録ともう1回やり直すのではどちらが楽？
- ▶ その情報にもう価値はないと言い切れますか？

(3) 評価や組織運営のための基礎データ

記録 = 「個人の体験」を「組織の情報」にすること

どのように記録を残すか？

(1) 紙で管理をする

- ▶ 物の管理が大変。
- ▶ 複製しにくい。
- ▶ 検索には不向き？



(2) データベースを構築する

- ▶ 構築に初期コスト。
- ▶ 維持費がかかることが多い。
- ▶ 維持管理に技術が必要。



どのように記録を管理するか？

(3) レファ協で管理をする

- ▶ 慣れは必要だが、レファレンスを記録するために開発されたデータベースなのである程度使いやすい。
- ▶ 費用は不要。管理維持は国立国会図書館が行う。
- ▶ 遠隔／複数人の利用が可能。複製・加工もしやすい。
- ▶ 参加館を支援する様々な機能あり
- ▶ 他の媒体との併用もしやすい。



■ 導入したところ…?

「紙の回答票を順番に回し読みしながら対応していた頃に比べ、**効率と対応スピードは格段に向上した**。全カウンターが同じ条件で利用者対応し、対応中に訂正や新しいツールが分かったときもすぐにデータを更新し、**全員がその情報を共有することが可能になった。**」

加藤由美子「一石三鳥の効果-情報共有から情報提供へ」『専門図書館』 2011 No.249 p48

→そんなレファ協の機能をご紹介します！



システムを使いこなす

- ▶ データの検索
- ▶ データの登録
- ▶ 参加館支援機能

システムの主な機能

① 検索に関する機能

② 登録に関する機能

③ 参加館支援機能（その他の機能）

- ▶ コミュニケーション：コメント、メール配信、掲示板
- ▶ 統計機能：自館や参加館の登録件数、被参照数の算出
- ▶ 管理機能：ID/PW管理、館内お知らせなどの編集

検索：3種類の検索方法

レファレンス協同データベース
Collaborative Reference Database

(1) 簡易検索

トップ

ページ表示数 10 25 50 100 200

[<詳細検索>レファレンス事例/調べ方マニュアル/特別コレクション/参加館プロフィール](#)

(2) 詳細検索

[<登録データ一覧>レファレンス事例/調べ方マニュアル/特別コレクション/参加館プロフィール](#)

お知らせ

- 2019年06月10日 葛飾区立中央図書館が新規参加館になりました。
- 2019年06月10日 亀田医療大学図書館が新規参加館になりました。
- 2019年06月07日 拍手数TOP5データ、アクセスTOP5事例、事業報告・統計に、2019年 5月分を掲載
- 2019年06月03日 京都女子大学図書館が新規参加館になりました。
- 2019年06月03日 久留米大学御井図書館が新規参加館になりました。
- 2019年05月30日 相生市立図書館が新規参加館になりました。
- 2019年05月28日 立正大学古書資料館が新規参加館になりました。

[お知らせ一覧](#)
[2014年6月以前のお知らせ一覧](#)

テーマから探す

(3) テーマから探す

NDC (101002) **地名 (17568)**

NDC (日本十進分類法)
①0 総記 (6182)
①1 哲学 (4867)

(1) 簡易検索

簡易検索

- ▶ 4つのデータを一度にまとめて検索

<https://crd.ndl.go.jp/jp/help/crds/search.html#chap2-1-2>

レファレンス事例



事業の参加館で行われたレファレンスサービスの記録

調べ方マニュアル



特定のテーマやトピックに関する情報源の探し方を説明した情報

特別コレクション



個人文庫など参加館が所蔵する特別コレクションに関する情報

参加館プロフィール



参加館の連絡先やサービス内容などについての情報

(2) 詳細検索

詳細検索

- ▶ 検索項目を指定・組み合わせて検索
- ▶ 目的や状況に応じて検索結果を絞ることができる
 - 【回答プロセス】 「あの資料はどうやって使われてる？」
 - 【参考資料】 「あの資料は役に立つ資料かな？」
 - 【主題】 × 【館種】 「この館種ではどう答えてる？」
 - 【主題】 × 【質問者】 「子どもの郷土レファはどう答えてる？」

→効率の良い検索とデータ作成の理解はセット！

(3) テーマから探す

テーマから探す

- ▶ NDCや地名のキーワードをもとにブラウジング
- ▶ 特定の分野・地域の事例を調べる場合に有効

テーマから探す

| | |
|---------------------|-------------------|
| NDC (101216) | 地名 (17603) |
|---------------------|-------------------|

すべて開く／閉じる

NDC (日本十進分類法)

- ⊕-0 総記 (6196)
- ⊕-1 哲学 (4874)
- ⊕-2 歴史 (21952)
- ⊕-3 社会科学 (20407)
- ⊕-4 自然科学 (8132)
- ⊕-5 技術 (9114)
- ⊕-6 産業 (7571)
- ⊕-7 芸術 (10825)
- ⊕-8 言語 (3080)
- ⊕-9 文学 (9065)

テーマから探す

| | |
|---------------------|-------------------|
| NDC (101216) | 地名 (17603) |
|---------------------|-------------------|

すべて開く／閉じる

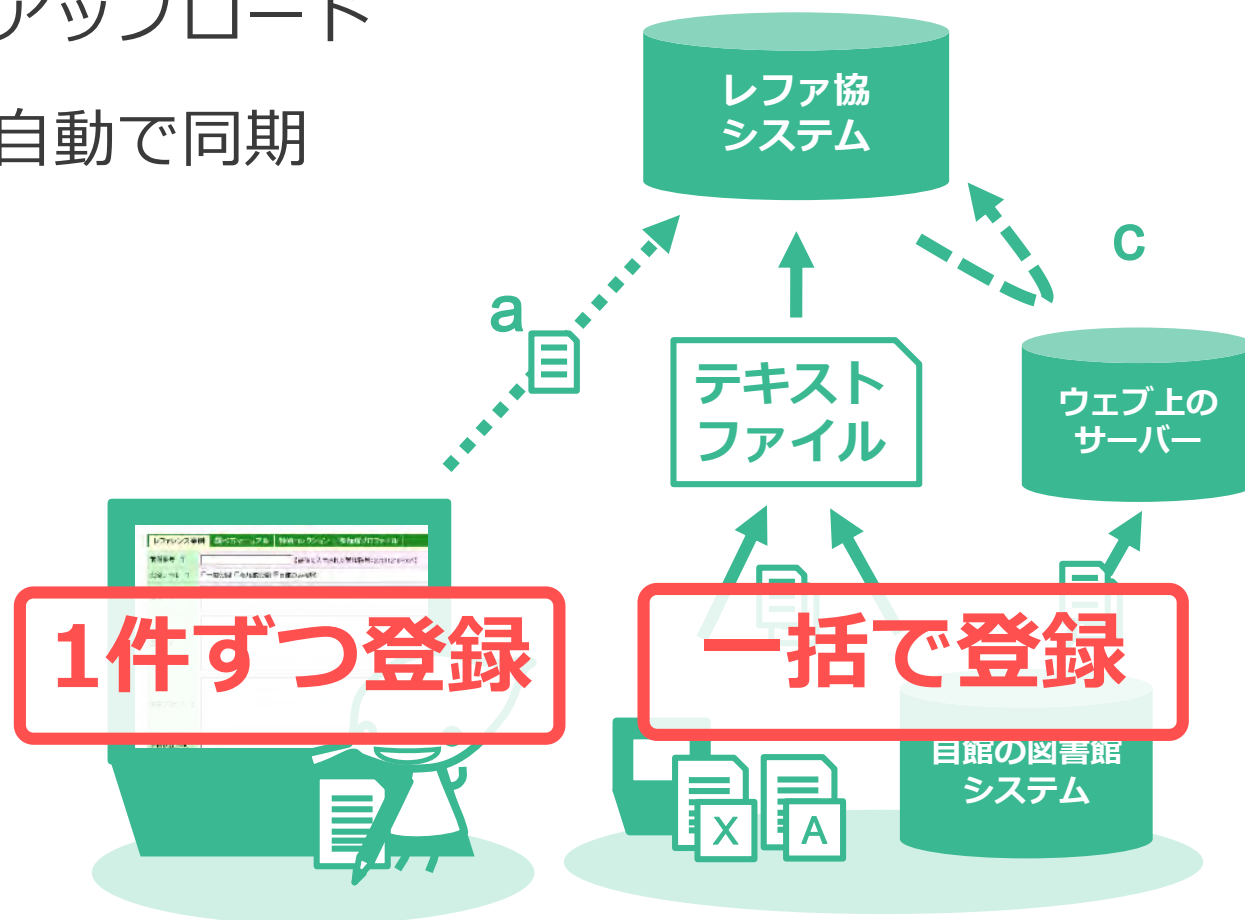
地名

- ⊖-2200000001 地名 (日本) (12567)
 - 2200000002 北海道 (185)
 - 2200000003 青森県 (17)
 - 2200000004 岩手県 (90)
 - 2200000005 宮城県 (144)
 - 2200000006 秋田県 (78)
 - 2200000007 山形県 (45)
 - 2200000008 福島県 (119)
 - 2200000009 茨城県 (242)
 - 2200000010 栃木県 (342)

例：市町村名を
都道府県に分類

登録：3種類のデータ登録方法

- ウェブフォームから手動入力
- ファイルをアップロード
- システムが自動で同期



a.ウェブフォームでの登録



2

ファレンス事例 | 調べ方マニュアル | 特別コレクション | 参加館プロフェ

| | |
|---------|--|
| 管理番号 ? | <input type="text"/> 【最後に入力された管理番号:201 |
| 公開レベル ? | <input type="radio"/> 一般公開 <input type="radio"/> 参加館公開 <input checked="" type="radio"/> 自館のみ参照 |
| 質問 ? | <input type="text"/> |
| 回答 ? | <input type="text"/> |

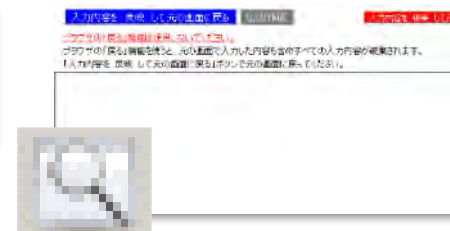
① トップ画面で「新規登録」をクリック

② 新規データの登録画面へ移動する。

▶ 「管理番号」にログインしたIDで最後に作成された番号が表示される

▶ 薄紫部分の「管理番号」「公開レベル」「質問」「回答」は必須項目

▶ 入力欄をクリックするとアイコンが2つ出る。地球をクリックするとリンク作成フォーム（左）が、虫眼鏡を押すと入力欄が拡大される（右）



b.ファイルのアップロード（＝一括登録）



- ① 「アップロード」をクリック
- ② 「参照」でアップロードするテキストファイル（XMLかCSV）を選択する
- ③ 他の項目も確認し「送信」をクリック
- ④ エラーがなければ翌朝に反映される。結果はメール通知が来るほか、処理予定・処理結果一覧画面で確認できる。

2

ファイルアップロードによる一括登録 ヘルプ

処理予定・処理結果へ

ファイル 参照

ファイルタイプ XML(UTF-8) CSV(Shift-JIS) CSV(UTF-8)

CSVファイルに関する指定

データ種別 レファレンス事例 調べ方マニュアル 特別コレクション

項目の並び順 標準フォーマット順 独自の並び順 項目順設定

開始行 例) タイトル行が無い場合は「1」、タイトル行が1行ある場合は「2」

送信

A hand cursor points to the '参照' button. Another hand cursor points to the '送信' button. A green arrow points from the 'アップロード' button in the previous screenshot to this form.

4

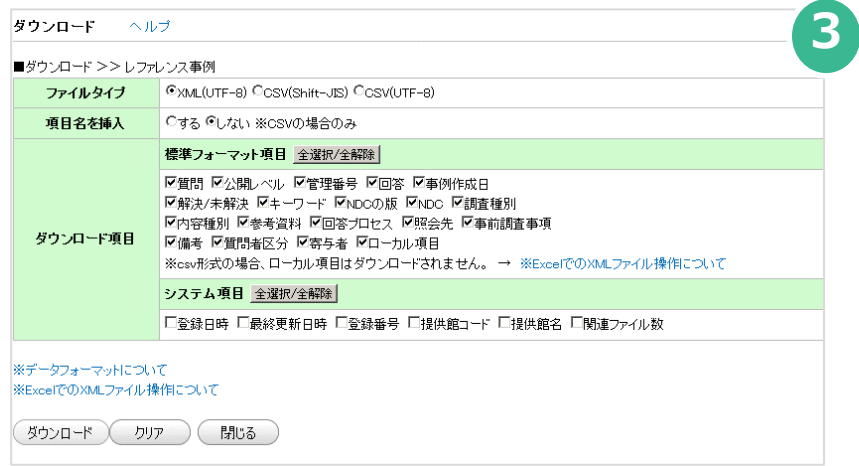
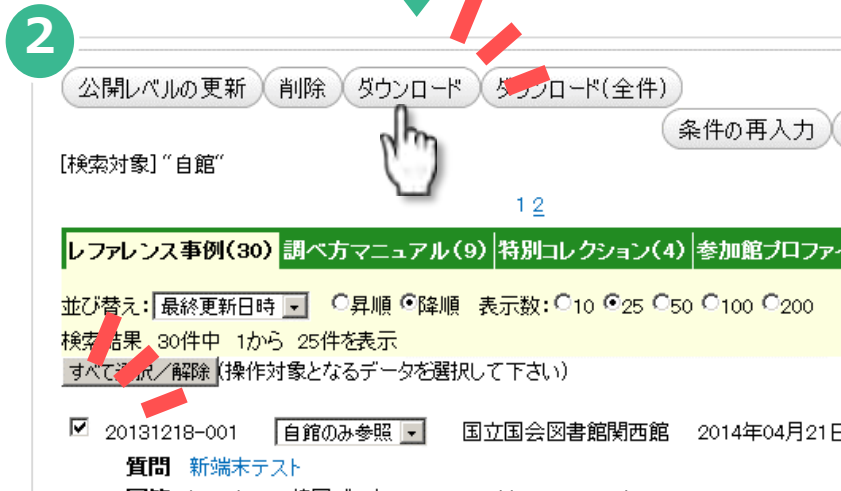
アップロードへ

※ 処理結果は翌日開表示されます。
※ エラーデータと警告データ:エラーデータはデータベースに登録されません。警告データはデータベースに登録されますが、注意メッセージがあります。いずれもログを確認してください。

| 送信時間 | 送信ユーザ | 処理状況 | 操作 |
|---------------------|------------|-----------------|----------------------|
| 2014/05/21 14:08:23 | 国会図書館(NDL) | 登録処理済み エラーデータあり | ログ表示 処理ファイルダウンロード |
| 2014/05/21 14:04:01 | 国会図書館(NDL) | 取り消し | ログ表示 処理ファイルダウンロード |
| 2014/05/21 13:19:24 | 東大和布立中央 | 登録処理済み 正常 | ログ表示 処理ファイルダウンロード |
| 2014/05/14 11:22:37 | 滋賀県立 | 取り消し | ログ表示 処理ファイルダウンロード |
| 2014/05/14 11:21:03 | 滋賀県立 | 登録処理済み 正常 | ログ表示 処理ファイルダウンロード |
| 2014/05/08 10:25:48 | 倉敷市立中央 | 登録処理済み 警告データあり | ログ表示 処理ファイルダウンロード |
| 2014/05/08 15:44:00 | 日本貿易振興機構 | 登録処理済み 正常 | ログ表示 |



参考：登録データのダウンロード



- ① トップ画面「自館データ」をクリック
- ② 自館のデータが一覧表示されるのでダウンロードしたいデータを選択し、「ダウンロード」をクリックする（又は「ダウンロード（全件）」をクリック）
- ③ 必要な項目・形式を選んで「ダウンロード」をクリックする。

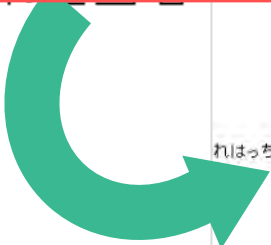


参考：CSVファイルの例

”「れはっち」というキャラクターを見たい。”,”1,”テスト01”
 ,”参考資料を提示した。”,”,”0,”,”,”,”,”文献紹介,”,”,”国
 立国会図書館総務部.びぶろす.国立国会図書館,2012-11.↓
<http://iss.ndl.go.jp/books/R100000040-I000157820-00>,”,”国
 立国会図書館サーチでキーワード「レファ協 れはっち」で検

索
参
説
利
し
は
27
デ
[EOF]

自館のデータを分析し
サービスの展開に利用する



| | | | | | | |
|------|---|-------|------------|---|------|---|
| れはっち | 1 | テスト01 | 参考資料を提示した。 | 0 | 文献紹介 | 国立国会 図書館総 務部.びぶ ろす.国立 国会図書 館,2012- 11. http://iss.ndl.go.jp/books/R100000040-I000157820-00 |
| | | | | | | 「レファ協 れはっち」 で検索。 参考資料 がヒットし たので中 身を確認 したとこ ろ、イラス トと説明が 掲載され ていた。 利用者 に見せたこ ろ、これで いいので 資料を提 供した。 |

便利な機能 1 : 参考資料の自動入力

1

資料検索 入力補助

書誌的 著作権台帳

事項

ISBN 備考

資料検索 入力補助

書誌的

3

資料検索 入力補助

書誌的 日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 . 著1

事項 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539

ISBN 備考

資料検索 入力補助

書誌的

2

| No. | 資料種別 | 書誌的事項 |
|-----|------|---|
| 反映 | | 日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539 |
| 2 | 図書 | 日本著作権協議会 [編] , 日本著作権協議 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000074-I0004 |
| 反映 | | 日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539 |
| 反映 | | 日本著作権協議会 編 , 日本著作権協議会 http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539 |
| 反映 | 図書 | 著作権台帳 : 文化人名録 21版. 1991. http://iss.ndl.go.jp/books/R100000001-I0539 |

①入力画面で、参考資料の箇所にある書誌的事項にキーワードを入力し「資料検索」をクリック

②検索結果一覧の中から使用した資料と同じものを選んで「反映」をクリック

③選択した資料の情報が自動で入力されるのを確認する。

便利な機能 2 : 関連ファイルの登録

1

関連ファイル ?


| | |
|---|---------------------|
| 関連項目 | 参考資料 |
| タイトル | れはっちペーパークラフト |
| 説明文 | れはっちのペーパークラフト |
| ファイル | D:\れはっちペーパークラフト.pdf |
| 関連ファイルのアップロード | |
| 調べ方マニュアルで関連づけられた「PDF」「Word」「Excel」「html」ファイルは、ファイルの検索対象となります(簡易検索および詳細検索で検索条件にす | |

2

| 項目名 |
|-----|
| 1 |

3

参考資料
(Reference materials)

| |
|---|
| れはっちペーパークラフト |
|  |
| れはっちのペーパークラフト |


キーワード

各館作成のパスファインダーのPDFファイル等をそのままアップロードできます！

- ① 新規登録画面「関連ファイル」にある「関連項目」等に情報を記入する。「参照」をクリックして、アップロードしたいファイルを選択する。
- ② 「関連ファイルのアップロード」をクリックする。
- ③ データを登録すると「関連項目」で指定された箇所にファイルへのリンクが表示される。

※調べ方マニュアルで関連データを登録すると、ファイル内部のテキストも検索対象となります。

関連ファイルを活用したデータ登録

| | | | | | |
|--------------------------|---|-----------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------|
| 提供館 (Library) | いわき市立いわき総合図書館 (2310140) | 管理番号 (Control number) | いわき総合-地域 2 5 7 | | |
| 事例作成日 (Creation date) | 2014年08月03日 | 登録日時 (Registration date) | 2014年09月04日 09時57分 | 更新日時 (Last update) | 2019年06月30日 16時50分 |
| 質問 (Question) | スパリゾートハワイアンズの歴史についての本はありますか。 | | | | |
| 回答 (Answer) | <p>『翔 夢とロマンを求めて』（常磐興産株式会社・レジャーリゾート事業部 2006）、『ハワイアンセンター物語』（猪狩勝巳1980）他、郷土フロアの「689（観光事業）」の棚を案内。当館作成パスファインダー「フラガールに関する資料の探し方」も案内する。</p> <p>本ではないが、映画『フラガール』のDVDも参考になる旨、併せて案内する。</p> <p>【追記】（2019.6.30） パスファインダーで紹介している本の他に、『フラガール物語』（清水一利 著 講談社 2015）、『「東北のハワイ」は、なぜV字回復したのか』（清水一利 著 集英社 2018）にも歴史についての記述がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>いわき資料パスファインダー「フラガール」</p></div> | | | | |

統計機能

1

統計出力 ヘルプ

本機能では、前日までの各種統計データをご確認いただけます。
 ※【制約事項】システム開始 から 2013年2月8日 までの登録件数は、2012年12月の登録件数として表示されます。

■自館の統計情報を調べる
 ▲自館統計情報(登録件数、被参照数) ※自館の登録件数、被参照数を確認することができます。

対象年 2013 年 1 月 ~ 2013 年 12 月

検索 クリア

▲被参照数(データ別) ※自館に登録したデータごとの被参照数・拍手！数を確認することができます。

対象年 2015 年 月 ~ 年 月

データ種別 レファレンス事例 調べ方マニュアル 特別コレクション 参加館プロフィール

出力 被参照数と拍手！数 被参照数 拍手！数

利用者区分 一般用+参加館用システム 一般用システム 参加館用システム

削除データ 含む 含まない

検索 クリア

2

検索条件【図書館コード】1210001【期間】2013年1月~2013年12月

登録件数(2013年1月~2013年12月)

ダウンロード

| データ種別 | 公開レベル | 合計 | 2013年1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|----------|--------|----|---------|----|----|----|----|----|----|----|
| レファレンス事例 | 一般公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 参加館公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 自館のみ参照 | 24 | 0 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 調べ方マニュアル | 一般公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 参加館公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 自館のみ参照 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別コレクション | 一般公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 参加館公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

3

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L |
|----------------|--|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 登録件数・被参照数 | 検索条件【図書館コード】1210001【期間】2013年01月~2013年12月 | | | | | | | | | | | |
| 登録件数 | | | | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 |
| データ種別 公開レベル 合計 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | | |
| レファレンス一般公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| レファレンス参加館公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| レファレンス自館のみ | 24 | 0 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 調べ方マニュアル一般公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 調べ方マニュアル参加館公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 調べ方マニュアル自館のみ | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別コレク:一般公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別コレク:参加館公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別コレク:自館のみ | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 参加館プロ一般公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 参加館プロ参加館公開 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 参加館プロ自館のみ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 被参照数 | | | | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 | 2013年 |
| データ種別 利用者区分合計 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | | |
| レファレンス一般用シ | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| レファレンス参加館用シ | 170 | 0 | 52 | 10 | 21 | 13 | 4 | 2 | 4 | 6 | 6 | 6 |
| 調べ方マニュアル一般用シ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 調べ方マニュアル参加館用シ | 9 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別コレク:一般用シ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特別コレク:参加館用シ | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

① トップ画面「統計」をクリックし取得したい条件を選択し「検索」

② 「ダウンロード」をクリックするとCSVファイルを取得

③ エクセルで加工が可能

※被参照数も同じ手順

統計機能を使って成果を報告

統計機能で表示できる値

- ▶ 登録件数 = 図書館が**どれだけ活動したか？**
- ▶ 被参照件数（アクセス数） = その活動の成果が**どれだけ届いたか？**

期間や館を細かく設定して表示できるので、昨年と比べてどれだけ増えたかや、他機関との比較も可能

コメント機能

- ▶ コメントの交換で登録データをブラッシュアップ！
- ▶ 記入はデータ詳細画面、確認はトップ画面「コメント」



メール通知機能

- ▶ 未解決事例の登録時とコメント到着時
- ▶ 未解決事例の配信は希望する館（メールアドレスを登録した館）のみ



■ 参加館コミュニケーションの意義

万能な図書館は存在しない

- ▶ それぞれの設置目的や守備範囲は異なる
(例) 主題、地域、対象利用者etc…
- ▶ 利用者と質問と図書館のミスマッチ
(例) 郷土に関するレファレンス

→個人芸だけに頼らずにチームで解決！

■ ユーザの種類

一般利用者（ログイン不要）

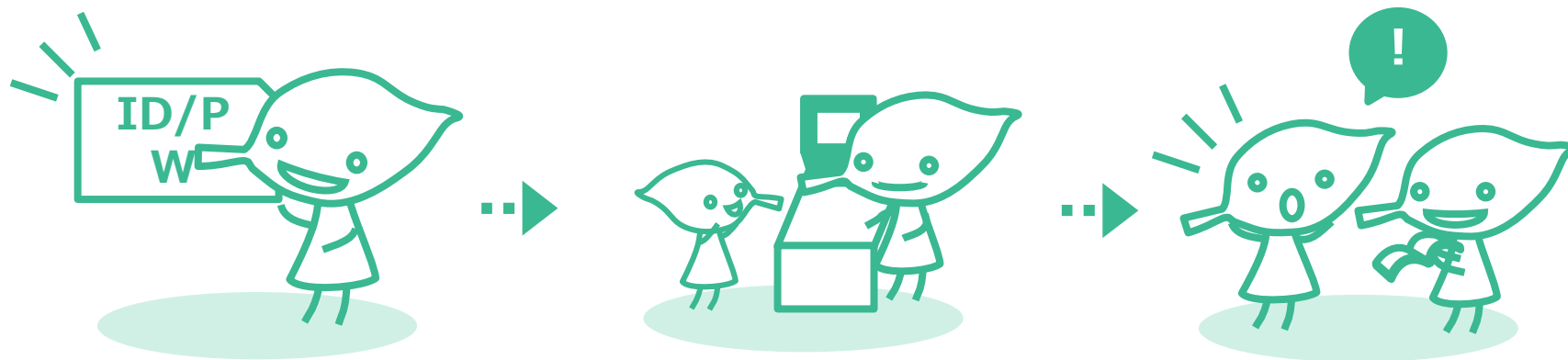
- ▶ 一般公開のデータを検索して参照できる

参加館の職員（3種類のIDのどれかでログイン）

- ▶ 検索ID：+一般/参加館公開のデータを検索・参照
- ▶ 登録ID：+データの登録ができる（自館のみ）
- ▶ 管理ID：+データの管理

一般公開への登録範囲切り替えは
管理IDしかできないので、情報漏洩のリスク低

■ 運用の方法を考える（イメージ）



(1) ID/PWの周知

検索・登録IDを担当職員に周知。

(2) データ登録

パターンA：レファレンス時に随時、登録更新

パターンB：Excel等の記録からレファ協に月に一度アップロード

(3) フォロー

自身/職員同士でチェックして管理IDで公開範囲を拡大へ

■ 実践のために

あらかじめ決めておくべきこと

- ▶ 管理番号の採番ルール
- ▶ 作業フロー、職員の役割分担と使用するIDの管理
- ▶ ローカル項目などの運用方法
- ▶ 登録・公開のポリシー

データ公開の条件

1. 個人のプライバシーを尊重する
2. 質問者の特定化を避ける（守秘義務）
3. 差別表現等の点で問題がないこと

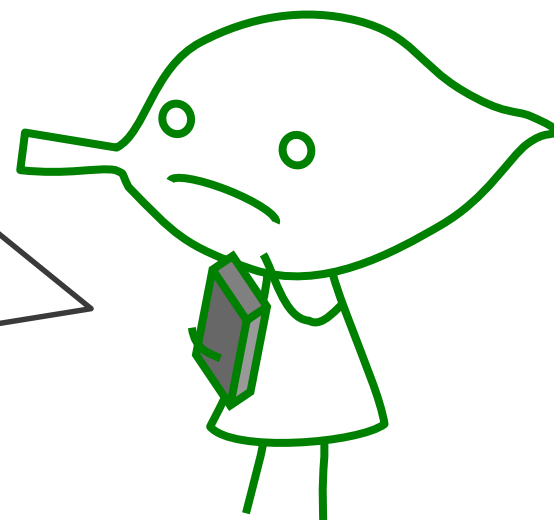
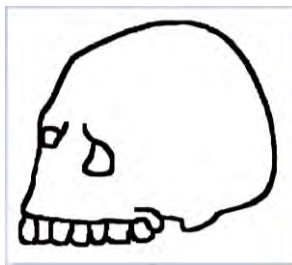


システムを使いこなす
・データ登録の実演

レファレンス事例のデータを作る

利用者から次のレファレンスを受けました。

右の形の蔵書印があると聞いて、誰の蔵書印であるかを調べていたところ宮武外骨の蔵書印であると聞きました。『近代蔵書印譜』という本で、そのことを確認できるらしいのですが、国立国会図書館関西館でその本を閲覧することはできますか？





4

図書館の活動を届ける

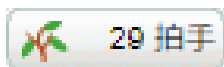
▶ 広報に生かす

■ レファ協を活用する！



「レファ協」で公開する意義

- ▶ 本当に届けたいなら露出は多いほうが。
- ▶ 情報は発信するところに集まる。
- ▶ 固定URLや検索結果の一覧画面の利用。
例：館ごと、主題の地域ごと、データの種類ごと
- ▶ 数の力・SNS連携
815本の矢？単独よりも集まった方が目立つ。
Twitter、Facebook、Google+などSNS連携機能。



事例データへのリンクを活用

- ▶ 事例の固定URLを活用する
- ▶ 自館の事例一覧画面へのリンクも可能(赤字が参加館ID)

<http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/list.reference?id=1110001>

- ▶ 国立国会図書館の事例検索 (検索対象:「すべて」)

レファ協の
検索窓も

- ▶ 国立国会図書館のレファレンス事例一覧

国立国会図書館レファレンス事例一覧

事例の一覧
へのリンク

反響は？に答えるために

国立国会図書館長からの御礼状はいかが？

- ▶ データ総登録、年間登録数、年間アクセス件数のどれかが一定以上に達した参加館に御礼状を送付
- ▶ 詳しい基準は、HPで公開しています
<https://crd.ndl.go.jp/jp/library/thanks.html>

企画協力員賞もあります！

- ▶ 御礼状の基準には当てはまらないが貢献が大きな館にお送りしています（小規模館にもチャンスあり）。



■ もっと広がる！レファ協の可能性

図書館のお仕事で

研修教材、レファレンス情報源、自館のレファレンスデータベース、選書や蔵書構築のための参考情報、広報の素材として、利用者の傾向やニーズの把握に、説明材料に…

一般利用者向けに

レファレンスサービスの紹介に、調べものの情報源として、調べ方のコツを知るための教材として

教育現場や研究活動など

図書館情報学の研究素材、司書養成の教材として



参加する/した後

- ▶ 参加申請
- ▶ フォローアップ

参加申請について

参加資格

- ▶ 学校教育法第一条の大学又は高等専門学校に設置された図書館又は研究所
- ▶ 図書館法の規定に基づく図書館又はこれに準ずる機関
- ▶ その他、専門図書館、学校図書館等、文書館etc…

申し込み方法

- ▶ 上記を満たすことを示す資料と参加申請書を送付
- ▶ おおむね3週間以内にIDなどをお知らせします。

<https://crd.ndl.go.jp/jp/library/entry.html>

■ 参加した後

参加館通信（月1回発行）

- ▶ メールマガジン。レファ協の情報をお知らせ
- ▶ ノウハウの共有

作成データのフォロー

- ▶ 最初に作成したデータは事務局で確認
- ▶ レファ協サポーターからアドバイスがもらえることも

■ 段階に応じた事務局からのサポート

集合研修（年2回）

- ▶ レファ協の利活用方法や運営に必要な知識・技能の習得を目的とした研修。東京本館と関西館で実施。

講師派遣型研修（年3件程度）

- ▶ 図書館に事務局員を派遣し、要望に合わせてご説明。旅費、宿泊費は依頼館の負担です（謝金不要）。

事業参加館フォーラム（毎年2月頃）

- ▶ 事業に関する意見交換、相互交流、連携協力の場として実施。講演や参加館の実践報告、フロアを交えたディスカッション、交流会など。

■ 終わりに

- ▶ 使い方は様々。
図書館ごとに、それぞれの使い方がある。
- ▶ レファ協の特徴を把握し、業務を組み立てる
道具の一つとして使う。

事務局がいつでもサポートします！

